**Revised POLESTAR English Expression I　観点別評価基準例**

**Lesson 1 I live in Yokohama**

**時制（1）－現在形・現在進行形**

①関心・意欲・態度

a. 現在形を用いて，自分の住む場所について説明しようとする。（→Pair Work）

b. 自分の好きなことなどを交えながら自己紹介をしようとする。（→Can-Do check! / Short Speech）

c. 自分の住む地域の有名な「花見スポット」について調べ，その内容を積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 現在形を用いて，現在の状態，習慣，不変の真理などを表す文を正しく書く／話すことができる。

b. 現在進行形を用いて現在進行中の動作や現在の反復的な動作を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 現在形・現在進行形について，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 現在形・現在進行形を含む自己紹介の英文を聞いて，その概要を理解する。

c. 花見に関する英文を聞いて，その特徴や，桜に対する日本人の行動を理解する。

④知識・理解

a. 現在形と現在進行形の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる現在形・現在進行形の用法のほかに， self-introduction，cherry blossom，in full bloomなどの表現を習得する。

------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2 We had two dogs**

**時制（2）－過去形・過去進行形**

1. 関心・意欲・態度

a. 過去形を用いて，先週末の自分の行動を説明しようとする。（→Pair Work）

b. 昔は嫌いだったが，今は好きになった物やことについて説明しようとする。（Can-Do Check! / Short Speech）

c. 「体育の日」の歴史について調べ，わかったことを積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 過去形やwould, used to Vを用いて，過去の状態，動作，習慣的動作などを表す文を正しく書く／話すことができる。

b. 過去進行形を用いて，過去のある時点で進行中の動作や過去の反復的な動作などを表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 過去形・過去進行形について，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 過去形・過去進行形を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「昭和の日」に関する英文を聞いて，その由来や歴史を理解する。

④知識・理解

a. 過去形と過去進行形の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. wouldとused to Vが過去の状態，習慣を表すこと，またそれらの意味の違いを知っている。

c. ポイントとなる過去形と過去進行形の用法のほかに，hot spring bath，travel on business，answer the phone，speak the ～ dialect，That reminded me that ～，come to V，national holidayなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3　We’re all going to the movies tonight**

**時制（3）－未来を表す表現・予定を表す表現**

①関心・意欲・態度

a. 現在進行形を用いて，自分の予定を説明しようとする。（→Pair Work）

b. 自分の将来について想像し，英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 自分の住む地域のその日の天気予報を英語で実演しようとする。（→Act Out）

②表現の能力

a. 助動詞will，be going to Vあるいはbe V-ingを用いて，未来・予定を表す文を正しく書く／話すことができる。

1. 現在形を用いて，公共性のある予定を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 未来・予定を表す表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 未来・予定を表す表現を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 天気予報の内容を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 未来・予定を表す表現の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. 瞬間的な判断を示すwill と，予定を表すbe going to Vの意味・用法の違いを知っている。

c. ポイントとなる未来・予定を表す表現のほかに，by *one*self，seem to ～，graduate from ～，fly to ～，predictionなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4　I’ve already had some sandwiches**

**時制（4）－現在完了形・現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形**

①関心・意欲・態度

a. 現在完了形を用いて，外国など特別な場所に行った経験について述べようとする。（→Pair Work）

b. 最近になって叶った自分の昔からの願いについて，英文にまとめて発表しようとする。（→　Can-Do Check! / Short Speech）

c. 「自分が従事している課外活動」について，ペアになって積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 現在完了形を用いて，動作の完了・結果，現在までの経験，現在までの状態の継続を表す文を正しく書く／話すことができる。

b. 現在完了進行形を用いて，現在までの動作の継続を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. 過去完了形を用いて，過去のある時点までの動作の完了・結果，経験，状態の継続，大過去を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. 過去完了進行形を用いて，過去のある時点までの動作の継続を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 現在完了形・現在完了進行形・過去完了形・過去完了進行形について，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 現在完了形の含まれた会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 面接における会話文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 現在完了形・現在完了進行形，過去完了形・過去完了進行形の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. 完了時制と過去時制の違いを理解している。

c. ポイントとなる上記の用法のほかに，travel abroad，take good care of ～，take an interviewなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 5 Can you swim 50 meters?**

**助動詞（1）－能力・可能・推量・許可を表す助動詞**

①関心・意欲・態度

a. 助動詞canを用いて，水泳能力について相手に尋ねたり，自分で言おうとする。（→Model Dialogs）

b. パーティーに友人を招くための招待状を書こうとする。（→Can-Do Check! /Short Speech）

c. ある著名人を1人選び，その人について自ら調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. can，couldを用いて能力・可能を表す文を正しく書く／話すことができる。

b. was[were] able to Vを用いて過去に実際にできたことを表す文を正しく書く／話すことができる。

c. Can I V?やMay I V?などを用いて相手に許可を求める文を正しく書く／話すことができる。

d. may [might]を用いて，話し手の確信のない推量を表す文を正しく書く／話すことができる。

e. can’tを用いて，話し手の強い否定的推量を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 能力・可能・推量・許可を表す助動詞の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する。

b. 能力の意味を表す助動詞を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. モーツァルトに関する英文を聞いて，彼が有していた能力を理解する。

④知識・理解

a. 能力・可能・推量・許可を表す助動詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，go out with ～，get around ～，find *one*’s way home，invitation，genius，talentedなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 6 You must wait until your fever goes**

**助動詞（2）－義務・必要・忠告・推量を表す助動詞**

①関心・意欲・態度

a. 助動詞mustを用いて，相手がしなければならないことについてその人に伝えようとする。（→Model Dialogs）

b. 地球温暖化を食い止めるために私たちがすべきことを英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 「質の高い睡眠をとるための方法」について調べ，わかった内容を積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. must, have toを用いて，「義務」「必要」を表す文を正しく書く／話すことができる。

b. do not have to, need notを用いて，「不必要」を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. should / ought to, had betterを用いて「義務」「忠告」「助言」を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. mustやshouldを用いて，「話し手の確信のある推量」を表す文を正しく書く／話すことができる。

e. must notを用いて，「強い禁止」を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 「義務・必要・忠告・推量」を表す助動詞の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する。

b. 「義務・必要」の意味を表す助動詞を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 医者と患者の会話を聞いて，患者の症状や医者の「助言」を理解する。

④知識・理解

a. 「義務・必要・忠告・推量」を表す助動詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，reduce waste，so that S V，plastic bag，feel nervousなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 7 Would you give me a hand?**

**助動詞（3）－依頼・願望・勧誘・提案を表す助動詞**

①関心・意欲・態度

a. 助動詞を用いて，相手にものごとを頼んだり提案したりしようとする。（→Model Dialogs）

b. 友人に何かを依頼するための文章を書いて，それをクラスで発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 相手の好きな食べ物について尋ね，それを踏まえて相手を食事に誘う会話を実演しようとする。（→Act Out）

②表現の能力

a. Would [Could] you V?，Would you mind V-ing?, I would be grateful if you could ～などの表現を用いて，相手にものを依頼をする文を正しく書く／話すことができる。

b. would like to Vを用いて，願望を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. How about V-ing?などを用いて，相手を勧誘する文を正しく書く／話すことができる。

d. Shall we V?を用いて，相手に提案する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 依頼・願望・勧誘・提案を表す助動詞の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する。

b. 依頼の表現を含む会話を聞いて，そのやりとりの概要を理解する。

c. 男女の会話を聞いて，勧誘・提案表現を含むやりとりの概要を理解する。

④知識・理解

a. 依頼・願望・勧誘・提案を表す助動詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. Would [Could] you V?とCould you possibly V?の違いを知っている。

c. ポイントとなる上記の用法のほかに，give ～ a hand with …，turn ～ off, I’m not sure about ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 8 I may have left my umbrella on the train**

**助動詞（4）－「過去のことに対する推量」などを表す表現**

①関心・意欲・態度

a. 〈must＋have＋過去分詞〉の形を用いて，ある人物の状態がよく／悪く見える理由を推測しようとする。（→Pair Work）

b. 過去に自分が行って後悔している事柄について，英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 絶滅してしまった動物について調べ、わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 〈助動詞＋have＋過去分詞〉を用いて，過去の事柄に対する推量，過去の事柄に対する強い否定的推量，過去の行為に対する非難・後悔を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 過去の事柄に対する推量などを表す助動詞の意味に注意して，個々の英文の意味を理解する。

b. 過去の事柄に対する強い否定的推量や過去の行為に対する非難・後悔を示す表現を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 絶滅した鳥に関する英文を聞いて，その絶滅理由などを理解する。

④知識・理解

a. 過去の事柄に対する推量などを表す表現の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，have got to V，rush to ～，get full marks，die out，extinctなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 9　It was closed down last month**

**受動態（1）－受動態の基本**

①関心・意欲・態度

a. 何かをしてほしいと人から頼まれた経験を尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 自分の好きな漫画やアニメについて英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 過去の自然災害を調べ，それについてわかったことを発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 基本的な受動態の文を正しく書く／話すことができる。

b. 過去形／完了形／進行形の受動態，句動詞を含む受動態の文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 受動態の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 受動態を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 過去の津波被害に関する英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 受動態の意味，用法を理解している。

b. 受動態の文が使われるべき文脈がある（逆に能動態を使うべき文脈もある）ことを知っている。

c. ポイントとなる受動態の用法のほかに，close down ～，run ～，remain seated，cartoon，broadcast，major disaster，in historyなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 10 It’ll be repaired soon**

**受動態（2）－いろいろな受動態**

①関心・意欲・態度

a. 受動態を用いて，ある物が何からできているのかを尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 受動態を用いて，自校の歴史をまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. プロのスポーツ選手を1人選んで，その人について調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 助動詞を含む受動態の文を正しく書く／話すことができる。

b. 第４文型〈SVOO〉，第５文型〈SVOC〉の受動態の文を正しく書く／話すことができる。

c. by以外の前置詞を使う受動態の文を正しく書く／話すことができる。

d. S is said to Vの文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. やや発展的な受動態に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 受動態を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. コービー・ブライアントに関する英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. やや発展的な受動態の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. 第４文型〈SVOO〉の受動態にはgiveの仲間とbuyの仲間があることを知っている。

c. ポイントとなる上記の用法のほかに，roast，translate ～ into …，wide variety of ～，focus on ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 11 I have too much homework to do**

**不定詞（1）－不定詞の基本**

①関心・意欲・態度

a. 不定詞の名詞的用法を用いて，将来の自分の夢について述べようとする。（→Pair Work）

b. 自分の次の長期休みの計画について英文にまとめ，それを発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 「AAA（アクト・アゲインスト・エイズ）」以外のチャリティー・イベントについて調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 不定詞の名詞的用法，形容詞的用法，副詞的用法を用い，正しい文を書く／話すことができる。

b. 〈疑問詞＋to V〉の形を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 不定詞を含むさまざまな構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 不定詞の名詞的用法，形容詞的用法，副詞的用法の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 不定詞を含む会話文を聞き，概要を理解する。

c. 「AAA（アクト・アゲインスト・エイズ）」の活動に関する英文を聞いて，その活動目的などを理解する。

④知識・理解

a. 不定詞の名詞的用法，形容詞的用法，副詞的用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる不定詞の3つの基本的な用法のほかに，at the moment，prepare for ～，act against ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 12 Let me have a look**

**不定詞（2）－いろいろな不定詞**

①関心・意欲・態度

a. 〈It is ～ of ... to V〉の構文を用いて，自分がしてもらったことについて相手に謝意を示そうとする。（→Model Dialogs）

b. やってみたら意外に難しかったことについて英文にまとめ，発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 「あかつき」以外の宇宙計画について調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 〈It is ～ for [of] ...to V〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 〈S＋知覚動詞／使役動詞＋O＋原形不定詞〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 完了形の不定詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. 独立不定詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

e. 〈形容詞・副詞＋enough to V〉の形を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

f. 形式目的語を含む正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. いろいろな不定詞を含んだ英文の意味を理解する。

b. 原形不定詞を含んだ会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「あかつき」に関する英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 〈It is ～ to V〉，〈It is ～ for [of] ... to V〉，〈S＋知覚動詞／使役動詞＋O＋原形不定詞〉，完了形の不定詞，独立不定詞などの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，run past ～，have a look，deadline，disagree with ～，turn out to be～，launchなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 13 I like singing karaoke**

**動名詞**

①関心・意欲・態度

a. 動名詞を使って何をすることが好きなのかを尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 自分の苦手なことについて，それに今後どう対処するのかを英文にまとめて説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 人生で大きな転機を経験した有名人を1人選び，その人について調べたことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 名詞的用法の動名詞（主語，補語）を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 名詞的用法の動名詞（目的語）を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 前置詞の目的語となる動名詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. 形容詞的用法の動名詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

e. 動名詞の意味上の主語を含む文を正しく書く／話すことができる。

f. 完了形の動名詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 動名詞に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 動名詞を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「ハリソン・フォードの転機」に関する英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 動名詞の名詞的用法（主語，補語，目的語，前置詞の目的語），形容詞的用法，動名詞の意味上の主語，完了形の動名詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の動名詞の用法のほかに，be proud of ～，be ashamed of ～，leave ～ to ...などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 14** **I felt really sad when I saw the Titanic going down**

**現在分詞と過去分詞**

①関心・意欲・態度

a. 過去分詞を用いて，自分の好きな曲が何というタイトルかを述べようとしている。（→Pair Work）

b. 自分が訪れたことのあるレストランについて，英文にまとめて発表しようとしている。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ある歴史的な出来事を選び，その場面に実際に自分がいると想定して，その様子を適切に実況中継しようとしている。（→Act Out）

②表現の能力

a. 現在分詞・過去分詞を前置あるいは後置修飾の形で用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 現在分詞・過去分詞を〈SVC〉の補語Cとして用い，正しい文を書く／話すことができる。

c. 現在分詞・過去分詞を〈S＋知覚動詞／使役動詞＋O＋C〉の補語Cとして用い，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 現在分詞・過去分詞に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 分詞を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「キング牧師のスピーチ」に関する英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 現在分詞・過去分詞の限定用法（前置修飾／後置修飾），SVC構文の補語(C)，および知覚動詞，使役動詞の補語(C)となる現在分詞・過去分詞の意味・用法の違いを理解し，適切に使い分ける。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，offer to V，live broadcast，historical event，take placeなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 15 You looked really nice wearing a *yukata* at the festival**

**分詞構文**

①関心・意欲・態度

a. 分詞構文を用いて，相手をほめようとする。（→Pair Work）

b. 自分が好きな日本の祭りを選び，それについて英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 歴史上で何かを一番最初に成し遂げた人について調べ，その人についてわかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 分詞構文（および接続詞＋分詞構文）を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 独立分詞構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 完了形や否定形，受動態の分詞構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 分詞構文に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 東京観光に関する会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. ガガーリンに関する英文を聞いて，彼の成し遂げたことなどを理解する。

④知識・理解

a. 分詞構文の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる分詞構文の用法のほかに，valuable，attract，straw hat，paper lantern，astronautなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 16 It’s nearly as high as Tokyo Tower**

**比較（1）－原級を用いた表現**

①関心・意欲・態度

a. 自分が最近見た映画と，その映画の主役が以前に出演していた映画を比較して, どちらがおもしろかったかなどを表現しようとする。（→Pair Work）

b. 自分の子供のころの夢について，英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 自分の好きな食べ物についての宣伝文を作り，その内容を積極的に発表しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a. 形容詞・副詞の原級を用いた〈A ... as＋原級＋as B〉，〈as＋原級＋as S can [could] / as possible〉，〈A ... not so much＋原級＋as...〉などの構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 同等比較の否定文〈A ... not＋as [so]＋原級＋as B〉を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 〈No other ... is as＋原級＋as B〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. 〈A...X times as＋原級＋as B〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

e. 比較の文中での語句のくり返しを避けるために，代名詞のthatを正しく使って書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 原級を用いた比較表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 原級を用いた比較表現を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 納豆について説明した英文を聞いて，その栄養成分などを理解する。

④知識・理解

a. 形容詞・副詞の原級を用いたさまざまな表現の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，be late for class，carry on V-ing，make *one*’s dream come true，proteinなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 17 What’s the deepest lake in Japan?**

**比較（2）－比較級・最上級を用いた表現**

①関心・意欲・態度

a. 最上級の構文を用いて，日本で一番の物や事について尋ねたり答えたりしようとする。（→Pair Work）

b. 「住むなら田舎と都会のどちらがいいか」というテーマについて自分の立場を表明し，英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 自分が思う近代の最も偉大な発明品について調べ，わかったことや考えたことを積極的に発表しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a. 〈A ... 比較級＋than B〉〈比較級＋and＋比較級〉〈the＋比較級，the＋比較級〉などの構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 〈A ... the＋最上級～＋of [in]...〉〈A ... one of the＋最上級～＋that SV...〉〈the＋序数＋最上級〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 〈A ... less＋原級＋than B〉の構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 比較級・最上級を用いた表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 最上級を含んだ会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「近代における最大の発明」に関する英文を聞いて，その発明による影響などを理解する。

④知識・理解

a. 形容詞・副詞の比較級・最上級を用いたさまざまな表現の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，Nobel Prize，get to ～，invention，modern timesなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 18 Can you name a Japanese scientist who has won a Nobel Prize?**

**関係詞（1）－人を先行詞とする関係代名詞**

①関心・意欲・態度

a. 関係詞を用いて，日本人のノーベル賞受賞者について述べようとする。（→Pair Work）

b. 自分にとってのヒーローについて，英文にまとめて発表しようとする。 （→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ある語を選び，その定義についてペアで積極的に話そうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 主格の関係代名詞 who / that，所有格のwhose を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 目的格の関係代名詞を省略して，正しい文を書く／話すことができる。

c. 前置詞の目的語となる関係代名詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. 関係代名詞の継続用法を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 人を先行詞とする関係代名詞に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 人を先行詞とする関係代名詞を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 職業を定義する英文を聞いて，その職業が何なのかを理解する。

④知識・理解

a. 人を先行詞とする関係代名詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる人を先行詞とする関係代名詞の用法のほかに，have an influence on ～， share ～ with ...，define，definitionなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 19 There’s a shuttle bus that leaves the station every 15 minutes**

**関係詞（2）－物を先行詞とする関係代名詞**

①関心・意欲・態度

a. 関係代名詞（の省略）を用いて，自分が今までで最もおもしろいと思った本について述べようとする。（→Pair Work）

b. ある言葉を決め，それを定義する複数の英文を書いて，相手にその言葉を当てさせようとする。（→Short Speech[p.90]）

c. 伝統的な日本の行事について調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Short Speech[p.91]）

②表現の能力

a. 主格の関係代名詞 which / that，先行詞を含む関係代名詞 what を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 目的格の関係代名詞を省略して，正しい文を書く／話すことができる。

c. 前置詞の目的語となる関係代名詞を用いて，正しい文を書く／話すことがでる。

d. 主節全体の内容を受ける関係代名詞の継続用法を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 物を先行詞とする関係代名詞に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 関係代名詞whatを含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「除夜の鐘」に関する英文を聞いて，その風習の概要を理解する。

④知識・理解

a. 物を先行詞とする関係代名詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる，物を先行詞とする関係代名詞の用法のほかに，so far，play catch，star，play a role，guessなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 20 She’s working in the hospital where I was born**

**関係詞（3）－時・場所などを先行詞とする関係副詞**

①関心・意欲・態度

a. 関係副詞を用いて，過去の出来事について，具体的な内容を尋ねたり述べたりしようとする。（→Pair Work）

b. ある英単語がどう発達してきたかという変遷を英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. エイプリル・フールのジョークについて調べ，わかったことをまとめて積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. 関係副詞 where, whenを用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 先行詞のない関係副詞 where, when, why, 先行詞を含む関係副詞how を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 関係副詞の継続用法を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 時・場所などを先行詞とする関係副詞に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 英国のBBCが仕掛けたエイプリル・フールのいたずらについて，その具体的な内容を理解する。

④知識・理解

a. 時・場所などを先行詞とする関係副詞の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，destination，fail，look up ～，origin，publishなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 21 What would you do if you had a hundred thousand yen?**

**仮定法（1）－仮定法過去**

①関心・意欲・態度

a. 仮定の上での話として，もし10万円持っていたら何をするかについて，相手に話そうとする。（→Pair Work）

b. 自分が日本の首相だったら何をなくしたいかについて，英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ビヨンセの歌詞を読んで彼女が言いたかったことを考えてペアで積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 仮定法過去を用いて，現在の事実と違うことを仮定する文を正しく書く／話すことができる。

b. 〈Without ～, 仮定法過去.〉を用いて，現在の事実と違うことを仮定する文を正しく書く／話すことができる。

c. 〈I wish＋S＋仮定法過去.〉〈If only S＋仮定法過去.〉〈as if＋仮定法過去〉の構文を用いて，仮定法の文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 仮定法過去の表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 仮定法過去の表現を含む会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 英語の歌詞を聞き取る。

④知識・理解

a. 仮定法過去の意味・用法を理解している。

b. ポイントとなる仮定法過去の用法のほかに，exist，get rid of ～，nuclear weapon，destroy，the Prime Ministerなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 22 If you had come, you could have met my girlfriend**

**仮定法（2）－仮定法過去完了**

①関心・意欲・態度

a. 「もし（あのとき）～がなかったら，…だったろうに」という内容を相手に伝えようとする。（→Pair Work）

b. ある歴史上の人物がいなかったらどうなっていたかを英文にまとめて発表しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. スポーツにおいての誤審について調べ，わかったことをまとめて積極的に話そうとする。（→Research and Chat）

②表現の能力

a. 仮定法過去完了の構文を用いて，過去の事実に反する仮定を述べることができる。

b. I wish～, If only ～を用いて，過去の事実と異なる願望を表すことができる。

c. 〈Without ～＋仮定法過去完了.〉を用いて，過去の事実に反する仮定を述べる文を書く／話すことができる。

d. if節内が仮定法過去完了で，主節が仮定法過去の文を正しく書く／話すことができる。

e. 〈as if＋仮定法過去完了〉の構文を用いて，様態（まるで～のように）を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 仮定法過去完了の表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 仮定法過去完了の表現を含む会話文を聞いて，その概要を理解することができる。

c. サッカー試合での「神の手」に関する英文を聞いて，その出来事の概要を理解することができる。

④知識・理解

a. 仮定法過去完了の意味・用法を理解している。

b. ポイントとなる仮定法過去完了の用法のほかに，have the flu，wrong call，fail to Vなどの表現を習得する。